

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

令和5年度事業実施報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

令和5年度は、令和2年当初に新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、拡大・縮小を繰り返し、コロナ禍によりシルバー事業にも大きな影響が出たが、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、社会経済的にも流通・交流が次第に拡大してきた。

請負契約及び派遣契約においても回復基調になってきており、特に派遣契約については令和5年度末には令和元年度の水準まで回復している。

経済指標の一つである有効求人倍率は、1.49倍から1.32倍の間で推移していて、直近では令和6年2月分が1.32倍とやや下落傾向にある。

このような状況下においても、高齢者の就労促進は地域経済を支えるため喫緊の課題であることには論を待たない。また、地域においては、高齢者の一人暮らし世帯への支援、子育て支援、介護予防への取組、空き家の適切な維持管理等の人手不足分野への対応などこれまで以上の需要が見込まれる。

このため、引き続き多様な地域ニーズや企業の求人状況などを適宜把握し、就業開拓を積極的に進めるとともに、行政機関と連携した公益的分野への進出・拡大も行い、請負・派遣の事業展開では、受注件数、契約金額、就業延人員とも前年度実績を上回るべく取り組んできたところである。

これを実現するためには、会員の拡大が基本的条件となるため、改正高齢法39条による業務拡大の活用及び高齢者活躍人材確保育成事業による就業体験、技能講習を通じた会員の確保を最重要課題として取り組んだところである。

しかしながら、高齢法の改正等により、65歳までの雇用確保義務、また、70歳までに雇用の確保等に関する努力義務が法制化された影響等もあり、60歳代の新規加入会員が激減している。従って、今後は新規会員獲得に向けた魅力ある就業開拓に積極的に取り組まねばならない。とりわけ人口比から見て拡大の余地が大きい女性会員の拡大は喫緊の課題である。女性の感性にアピールする広報や女性の就業意欲を喚起する仕事の就業開拓等に取り組むことが重要である。

さて、シルバー事業の現状については、令和6年3月末で請負実績（契約金額）において2.5%増、一方、派遣実績（契約金額）においては、11.0%増となっており、事業全体（契約金額）では3.9%の増となっている。

また、会員数については、新規加入者の確保と同時に退会希望者に対する個人面談、就業ニーズに応じた就業斡旋等退会抑止の対策を講じたところである。各センターにおいて増減はあるが、全県で会員数が0.4%増、人数にして12人増加した。

	会員数(人)	受注件数(件)	契約金額(円)	就業延人員(人)
令和5年度	3,231	25,961	1,254,080,918	264,123
令和4年度	3,219	26,534	1,206,429,726	263,773
前年比	+ 12	- 573	+ 47,651,192	+ 350

1 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業は、安全適正就業が基本であり、最優先課題として組織的に取り組みを進めてきた。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

第1回

令和5年6月8日(木)(倉吉体育文化会館)16名参加

- ① 令和4年度事故発生状況について
- ② 令和4年度安全・適正就業対策推進事業実施状況について
- ③ 令和5年度安全・適正就業推進基本計画(案)について
- ④ 令和5年度安全・適正就業対策実施計画(案)について
- ⑤ 令和5年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領(案)について

第2回

令和6年2月27日(火)(倉吉体育文化会館)17名参加

- ① 令和5年度事故発生状況について
- ② 令和5年度安全・適正就業推進事業の実施状況について
- ③ 令和6年度安全・適正就業推進事業基本計画(案)について

(2) 安全就業対策講習会

「高齢者の交通事故防止と免許更新について」を各警察署講師からの講演を受講

- ① 東部地区 令和5年11月10日(金) 参加者15名
- ② 中部地区 令和5年11月7日(火) 参加者19名

- ③ 西部地区 令和5年11月6日(月) 参加者20名
- (3) 安全・適正指導者会議・安全パトロール担当者会議(倉吉体育文化会館)
全県下SCが一堂に会し、令和5年度安全・適正就業推進計画の説明及び各センター事故対策等取組報告 参加者23名
- (4) 各センターの安全・適正就業推進員による安全パトロール(剪定・草刈作業)
智頭町SC 6月15日(木) 1箇所 剪定作業 就業会員 7名
江府町SC 9月12日(火) 1箇所 草刈作業 就業会員 7名
琴浦町SC 9月15日(金) 1箇所 草刈除草作業 就業会員 7名
- (5) 連合会及び各センターの安全・適正就業推進員による安全パトロール
・県下13回(対象就業会員119名)
- (6) 安全・適正就業研修会の開催
令和5年7月21日(金) (倉吉体育文化会館) 72名参加
・講話「適正な請負業務とは」鳥取労働局 需給調整指導官 谷口真也 氏
・事例発表「安全・適正に関する鳥取市SCの取組」鳥取市SC 横田健介 氏
・事例発表「湯梨浜町SCにおける安全・適正就業の取組について」
湯梨浜町SC安全適正委員長 葛原隆義 氏
・事例発表「江府町SCの取組について」 江府町SC 影山一成 氏
安全就業標語募集 令和5年4月28日(金)～6月1日(木)
各センターの会員及び役職員が応募
応募件数 93件

2 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、この事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を実施した。

連合会機関誌「会報鳥取」の発行

令和6年1月 500部

3 就業開拓事業

県内企業、官公庁・各種団体等を訪問し、多様な就業分野の開拓・拡大及び開拓した情報をセンターに提供し、県内全域の就業開拓及び調整を行った。

- (1) 就業機会開発推進委員会の開催

令和5年7月6日（木） オンライン会議により開催した。

(2) 就業開拓推進員の配置

県内企業、官公庁等を訪問し就業機会の確保・提供及び新たな就業分野の開拓に努めた。 令和5年度 訪問件数 256件

(3) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

・ 県内企業及び官公庁等を訪問し、ホワイトカラー系の仕事を中心に就業開拓・情報提供に努めた。 令和5年度 訪問件数 256件

(4) シルバー派遣会員就業調査 訪問件数 4件

合 計 260件

4 交流・研修事業

シルバー人材センター事業全般に亘っての理解と事業活動の充実、発展を図るため、センター役職員、実務担当者を対象に資質の向上と意識の高揚を図るため研修会等を実施した。

1 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会役職員研修会（開催県・鳥取県）

令和5年10月24日（火）～10月25日（水）米子コンベンションセンター「国際会議室」において開催され本県からは、84名が参加した。参加者総数は283名であった。

- ・ 基調講演「事業改革を進めるために」 全シ協 会長 金子順一 氏
- ・ 講演「組織運営の合理化とコストカットの手法」「会員拡大活動を支えてきた活動原資確保の重み」

公益社団法人八代市シルバー人材センター 常務理事 松村克法 氏

- ・ 講演「インボイス後の消費税の具体的な仕訳事例」「令和7年施行予定新たな公益法人制度の内容について」

衣目成雄公認会計士・税理士事務所所長 公認会計士・税理士 衣目成雄 氏

2 個人情報保護制度研修会（倉吉体育文化会館）令和6年2月9日（金）

- ・ 研修内容「個人情報保護制度について」鳥取県県民参画協働課課長補佐 片山博紀 氏

3 インボイス制度導入に伴う研修会（倉吉市 未来中心） 令和5年9月13日（水）

衣目成雄公認会計士・税理士事務所所長 公認会計士・税理士 衣目成雄 氏

各センターの事務局長及び担当者が、インボイス導入により生じる様々な課題について、公認会計士・税理士から直接講義を受け、疑問点を相談することにより解決を図るとともに、それぞれの相談内容を全センターが共有し、スムーズな導入を図ることを目的とするもの。

・研修内容「インボイス制度の概要」「実務上の仕訳例」「包括契約」及び「質疑応答」

13センターから27名が参加

4 インボイス制度導入に伴う研修会（倉吉市 未来中心）令和5年9月27日（水）

「エイジレス80」システムを使用しているセンターの担当者が、インボイスの画面入力の方法等について、直接システム会社の担当者から説明を受け、疑問点を相談することによりスムーズな導入を図ることを目的としたもの。

・研修内容「インボイスの説明（資料プラス画面操作）」及び「質疑応答」

8センターから14名が参加

5 シルバー派遣事業

センター会員の就業・就労ニーズの多様化への対応と職域の拡大に加え適正就業の推進を図った。

(1) 第1回シルバー派遣事業運営委員会（倉吉体育文化会館）令和5年7月26日

（水）15名参加

議題

- ① 令和4年度派遣実績・配分手数料明細（年間）
- ② 令和4年度派遣事業収支実績
- ③ 鳥取県シルバー派遣事業実績4か年の推移

(2) 第2回シルバー派遣事業運営委員会（倉吉体育文化会館）令和6年3月8日（金）

15名参加

議題

- ① 令和6年度派遣事業予算（案）について
- ② 鳥取県シルバー派遣事業実績4か年の推移
- ③ シルバー派遣会員の無期労働契約転換等の対応について

(3) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）

就業実人員 624人
就業延人数実績 47,219人日

〔6〕 シルバー事業支援要請行動

連合会会長、副会長及び事務局長が、鳥取労働局及び鳥取県に対し連合会への支援要請並びにシルバー人材センター事業への支援要請を行った。

令和5年8月30日（水）

〔7〕 シルバー人材センター指導（原則3年に一度実施）

高年齢者雇用安定法第47条に基づき、その設置目的に沿った運営がなされているかの指導及びその他の援助を行う。連合会事務局長が全シ協から指導員として委嘱されたことに基づき実施した。

令和5年11月10日（金）大山町SC、境港市SC

令和5年11月13日（月）江府町SC、日南町SC

令和5年11月17日（金）米子広域SC

※ 上記5センターについては、全シ協からの指導もあり、特に補助金等に関する会計・経理業務関係に重点を置いて指導事業を実施した。

〔8〕 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー未加入の高齢者、職種転換希望若しくは昨年度1年間就業していないシルバー会員、また、シルバー会員が希望する分野での仕事の発注が見込まれる企業等を対象に、マスメディアを利用した周知・広報を実施するとともに、セミナー・就業体験・技能講習及び企業説明会を開催し、シルバー会員の拡大、シルバーを活用する企業等の増加に努めた。

- (1) 周知・広報は、テレビ、県政だより等により会員募集、各商工会議所広報紙等に広告を掲載し、仕事の募集等を実施した。
- (2) 企業説明会は、介護等人手不足の業種等30の事業所等が参加した。
- (3) セミナーは、東・中部地区で「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催し19名が受講、西部地区で開催した「手作りかご編み教室」には38名が受講した。
- (4) 就業体験は、草刈り（東・中部）と介護（西部）を開催し13名が参加した。

(5) 各技能講習は、東・中・西部地区で7種類、15講習を開催、合計で117名が受講した。

介護補助講習	1回	定員10人	受講者8人
調理補助スタッフ講習	2回	定員20人	受講者9人
ハウスクリーニング講習	2回	定員20人	受講者11人
草刈技能講習	3回	定員30人	受講者33人
剪定技能講習	3回	定員30人	受講者23人
自動車安全運転講習	1回	定員12人	受講者9人
スマホ講習	3回	定員30人	受講者24人

上記の活動等で、238名（目標は174名）が入会した。（達成率137%）

9 諸会議の開催

(1) 理事会 令和5年6月5日（月）、令和6年3月21日（木）

(2) 定時総会 令和5年6月21日（水）